

No.1

No.	概要	反映	市の考え方
1	<p>1 「計画」の構成は、良好です。</p> <p>2 市独自給付について</p> <p>(1) 市からの「請求教示」がおこなわれていないことから、1 万参千円給付を受け取れている方、受け取れていない方で「不公平」が生じています。</p> <p>(2) 「不公平」の実情を検証し、市からいままで給付対象であったにも関わらず支給されてこなかった「障害者」への「請求教示」をおこなってください。</p> <p>(3) 教示は「障害者等」として施設や親族が手続き代行できるようご配慮ください。</p>	無	<p>本障害福祉計画について、御意見いただきまして、ありがとうございました。</p> <p>市の南アルプス市心身障害者福祉手当について、御意見をいただきました。なお、手当については、広報等での周知を行い、また手続き代行については、すでに施設や親族の方が代行できるようになっております。</p>
2	<p>大変丁寧な計画書です。私は、心の病を持つ皆さんと、家族の立場で意見を述べさせていただきます。精神障害者及び家族への支援は大変遅れています。是非、検討ください。</p> <p>OP14及び24地域包括ケアシステムについて</p> <p>2019年「精神障害者にも対応した地域包括ケアシステムの構築」は、すでに3年を経過して国の予算化も有り進んでいます。</p> <p>P14 具体かを推進します。ではなく具体的に記述して下さい。無理であれば期限を決めて、何をどうするか明確にして下さい。資料(株)日本能率協会総合研究所</p> <p>P24 障害者自立支援協議会に機能させるのか、明確にして下さい。</p> <p>山梨県は長年自殺者が全国上位を記録して昨年はトップです。精神障害者への偏見始め、この法律が目指す(全国で先進事例が具体的に示しています)意義を確認して、今回の計画に具体化をして下さい。急がなければコロナ感染で深刻な状況です。皆さんには障害者が苦しんでいる、この状況が見えていないのでしょうか。</p> <p>先進例では 家族支援、住まいの手配、ピアサポート、アウトリーチ、介護、地域移行、等々で国からの予算が出るのです。何故この事業を実施しないのか理解できません。？ 明確な回答を期待します。</p>	無	<p>今回のパブリックコメントは、第6期障害福祉計画・第2期障害児福祉計画になり、福祉サービス等種類ごとの必要な量の見込み、及び見込量を確保するための方策、地域支援事業の実施に関する事項を定める計画です。いただきました御意見の内容については、ページ標記からすると第4次障害者計画のものと思われれます。</p> <p>いただきました御意見の中で今回の計画に盛り込んだ内容に関連するものについてお答えします。</p> <p>○精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築については、3年を1期とする障害福祉計画に目標を定めて取り組むこととされています。(6ページ参照)</p> <p>本市では、自立支援協議会地域移行部会を主な協議の場として活動を推進しています。活動内容は、県内でも先進的な取組を行っており、実績を踏まえ具体的な活動指標を立てています。</p>

○障害者自立支援協議会が当事者、家族の声を拾い、アンケート調査を行い、「私達の事を私達抜きに決めないで」を丁寧に実行している。この事に感銘を受けます。

精神の当事者が懸命に発言し、自信を持ち、回を重ねる度に参加者が増えて行きました。主催者が発言に耳を傾け広報する姿勢が大きな信頼と共感を受けた事、思っている事を言える場所が出来たのです。今回の山梨県の施策推進協議会にこの点が大きく欠落しています。第4次のプランにも、これをさらに発展させた例えば「南ア版、障害者主張大会」などを期待します。

○相談支援事業について

P12 今まで実施されていた、精神障害者家族会の相談支援事業の、再開実施をお願いします。

○障害者の市民ボランティア団体に依る、成年後見制度の活用について。

P12 新たに項目追加する 障害の子供を持つ親は、親亡き後の子供の将来が、一番の心配事です。親がまだ元気な内に支援者の存在が必要です。それぞれの障害者家族団体において、障害の特性に対応した成年後見制度の確立が役立ちます。

○P14 グループホーム ニーズ把握に留まらずに、障害者が地域で安心して生活が出来る支援を、具体的に実施します。 に変更。

○P18 障害者の災害に対する不安は、「あったかカード」止まりの現状より前に進んでいません。国の防災研究所の各障害別の予約カードに依り、届け出て、個別に対策を作る事です。何故それを進めないのか不思議です。早急に進めて下さい。

○第4次障害者計画策定年度には、障害者自立支援協議会障害者計画部会を7回実施し当事者や支援者等を交え、意見交換や御意見をいただく場とし開催しました。第6期障害福祉計画・第2期障害児福祉計画は、実際に福祉サービス従事者や事業所のスタッフで構成された障害福祉計画部会を5回開催し、国の指針に伴う目標値から実際の現場の状況を踏まえ、本市独自の目標設定をしています。御意見いただきました内容は、今後イベント等を企画する際の参考とさせていただきます。

○相談支援事業について

相談支援体制の充実・強化等(13ページ参照)

本市では、地域における相談支援体制について検証・評価を行い、総合的な相談支援体制、専門的な指導・助言等が可能な機能を有する基幹相談支援センターを、南アルプス市障害者相談支援センターが担っています。今後、更なる相談支援体制の強化のため、活動指標を示しております。

○成年後見制度の利用促進については、

高齢者福祉部門及び社会福祉協議会と連携して取り組んでおります。市民後見人等の受け皿の確保は課題でもありますので、家族会など様々な関係者の御協力は大変な支えとなります。

○障害者が地域で安心して生活ができる支援として、地域生活支援拠点事業があります。施設等からの地域生活移行や、障がいのある人の高齢化・重度化やいわゆる「親なきあと」の暮らしを支えるため、令和2年度から運用を始めています。(8ページ参照)

○以下の御意見は、福祉行政を運営する上で大変貴重なものですので、それぞれの担当課へも伝えさせていただき、今後の施策の参考とさせていただきます。御理解をよろしく願いいたします。

OP18 当事者活動・・・ 追加

民生委員児童委員、行政関係者、障害者施策推進協議会、自治会長、協働の皆さん、社協、の皆さんに当事者の名も声を聴いて下さい。

OP18 追加 障害者、当事者、の会の催しに、市の方地域の方、支援者の皆さん是非ご参加を。

OP23 オリンピックは出来事では有りません。平和の祭典です。そしてスポーツのみの行事では有りません。平和の為の文化の祭典です。私たちは市にホストタウンの申し入れをしましたが、実現しませんでした。それから、文化芸術事業の申し入れを行い。これに南アルプス市は応えて頂き、アールブリュット展及び障害者文化展を、南アルプス市中央美術館で開催する予定でしたが、コロナ感染の為開催する事が出来ませんでした。コロナ感染が終結後実現を楽しみにしています。

訂正してください。 → ◎市民が・・・・・・イベントの開催など目指します。

→ ◎市民が・・・・・・イベントの開催などおこないます。

○障害者施策推進協議会に、精神障害者家族及び当事者を、委員として参加出来る様取り計らいを希望いたします。

以上、誤字脱字、失礼な表現が有るかと思いますが、よろしく願いいたします。もし必要が有ればお呼び出し頂けば、ご説明に伺います。